

平成16年度
県立図書館の活動状況
 (平成17年3月31日現在)

1. 蔵書数 729,396冊

一般資料	370,182冊
地域・行政資料	123,136冊
こどものへや 児童図書研究室資料	96,976冊
特殊文庫	61,753冊
協力事業用資料 (移動図書館など)	77,349冊
合計	729,396冊

県立図書館には、729,396冊の資料があります。

辞典類・白書類などの調べものに役立つ資料をそろえ、特に福島県に關係する地域・行政資料の充実に努めています。新聞や雑誌のバックナンバーもご利用いただけるように保存しています。

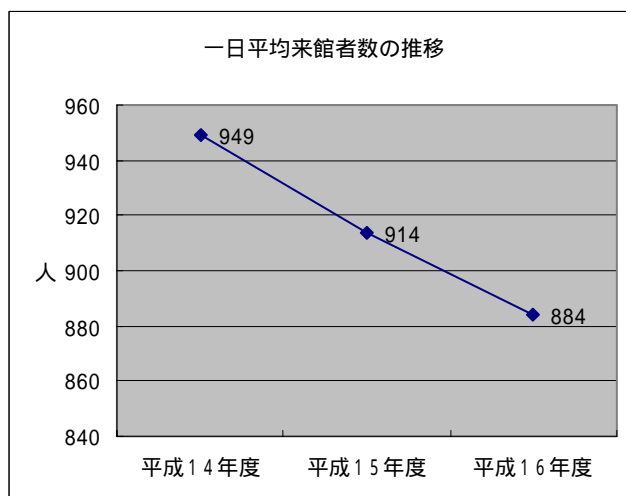
県民のみなさんへの情報提供、そして資料を保存していくことで、福島県の文化を伝えていく役割も担っています。

新聞・雑誌 (平成16年度受入分)	新聞 90紙 雑誌 1,011誌
視聴覚資料 (主に福島県に関する資料)	2,057点

2. 利用状況

来館者数 245,707人(開館日数278日)

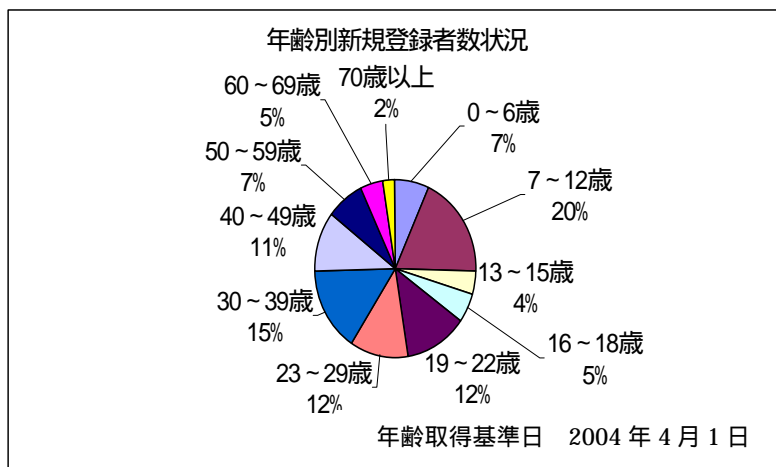
一日平均 884人



1日平均来館者数は、年々減少しています。その理由として、県内に新しい図書館が建設され、身近に図書館ができたことや、インターネットによる県立図書館の利用が増えていることが考えられます。

探している本があるかどうか調べてから図書館に来館する人、地元の市町村立図書館を通して本を借りる人も増えています。

利用カード登録者数（新規） 4,662人



利用カードの登録が一番多いのが、7～12歳の子供です。また、新規登録者全体の、36%が子どもだということわかります。（18歳までを子どもとした場合）

子どもが一人で行動できる範囲は、それほど

広くありません。県立図書館のある福島市内に住んでいるか、大人につれてきてもらわなければ利用できないということを考えると、子どもにとって図書館のニーズがいかに大きいかわかります。

次に多いのは、30代と20代の方です。インターネットを多用する世代の利用が多いのは、福島県に関する資料・辞典類・白書類が特に充実しているからかもしれません。インターネットで見つけられないことでも、調べることができる可能性があります。

遠隔地返却 3,647冊

県立図書館で借りた資料を最寄りの市町村立図書館で返却できるのが遠隔地返却制度です。この遠隔地返却制度を利用し、3,647冊の本が県内の市町村立図書館に返却されました。福島市にある県立図書館に、遠方から利用しに来る人も多いことがわかります。

3. ホームページの利用状況 アクセス件数 114,540件

県立図書館URL <http://www.library.fks.ed.jp/>

1年間で福島県立図書館のトップページへのアクセス件数は114,540件です。1日平均314件のアクセスがありました。

インターネットによる図書館の情報発信は、メンテナンスの時間を除く365日24時間行われており、いつでも利用いただけます。

なかなか図書館に行くことができない遠方にお住まいの方や、身体のご不自由な方などにもご利用いただけます。



	アクセス件数
トップページ	114,540
蔵書検索	53,875
横断検索	14,666
メールレファレンス	2,147
デジタルライブラリ	5,232

トップページの次にアクセス件数が多いのは、「蔵書検索」のページです。県立図書館の「蔵書検索」と郡山市図書館、福島市立図書館、県立図書館の3館の資料を同時に調べることができる「横断検索」を合わせると、トップページへのアクセスの半数になります。

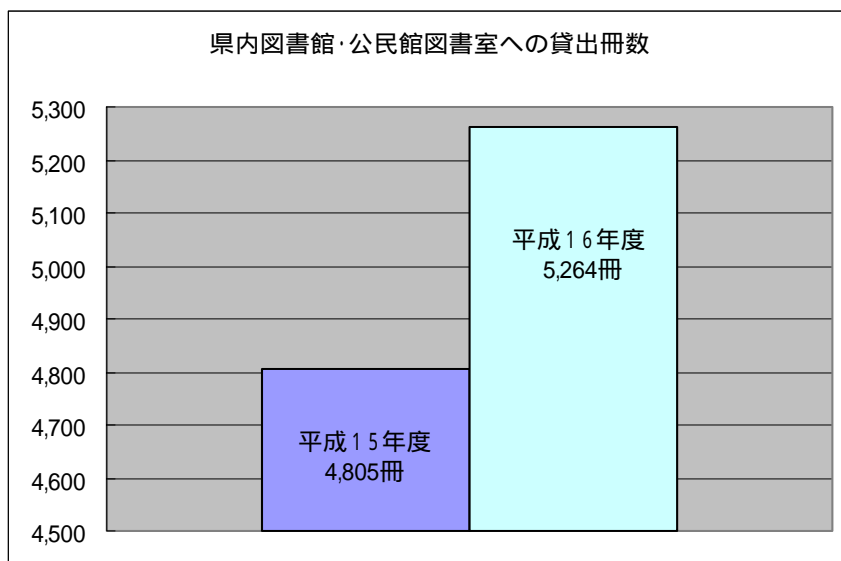
また、Eメールで調査相談の質問を受け付けています。

「磐梯山噴火之図」(土佐光/画)など、県立図書館の貴重資料をデジタル化して公開したデジタルライブラリにも、5,232件のアクセスがありました。

県立図書館にあるインターネット用コンピュータも、12,738人に利用していただきました。

4. 市町村立図書館・公民館図書室へ

県内図書館・公民館図書室への貸出 5,264冊



所蔵していない資料を他の図書館から借り受けて提供する相互貸借制度という図書館ネットワークがあります。

この相互貸借で、県内の図書館・公民館図書室に貸出す資料は毎年増加しています。

